

老心の歎きろうしん なげ — 因果歴然いんがれきねん 哀しみからの教えあし — (五版)

どうしてそこまで損なうかそこ

結果は来ないと言いたいかい

自分で作れば自分で受けるう

悪縁もたらし周りも感化かんか

自作自受じさじじゆ

今生受けるは罰当たりぼちあ

自ら貴さ損なつたそこ

順現報受じゆんげんほうじゆ

次生に受けるは必罰とひつぱつ

あれが悪しと悔やまれんわる

順次生受じゆんじしやうじゆ

その後の痛恨極み無しご つうこんきわ な

己の背中が手本なりおのれ せなか てほん

順後次受じゆんごじじゆ

刹那相続三時ありせつな そうぞくさんじ

結果が熟すに間があるもま

桃栗三年柿八年

その間を知らずに錯るかあやま

枇杷は九年でなりかかる

悪の報いは必ず有らんあ

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文